

農業体験の支援活動に参加

令和5年11月5日（日）、宮崎県都城市高城町において多面的機能支払交付金に取り組んでいる『横原「水・土・里」を守る会』主催による横原地区小学校子供会を対象としたサツマイモの収穫作業や稲の脱穀作業が行われ、NPO法人「美しい田園 21」九州支部からも都城市在住の3名が支援活動として参加しました。

この活動は子供会の児童が農業体験しながら地域住民と交流を図る目的で実施されています。これまでは保護者同伴のもと昔ながらの手植えによる田植え作業をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から近年は中止せざるを得ない状況でした。このため、本年度は近くの畑で栽培されたサツマイモの収穫作業と、『横原「水・土・里」を守る会』役員が掛け干した稲の脱穀作業を経験してもらうことにしました。

当日は、天候もよく児童、保護者、役員及びNPO法人「美しい田園 21」会員合わせて約30名が参加し、汗をかきながらの作業ではありましたが、初めてサツマイモを収穫した児童たちは保護者と記念撮影を楽しむとともに、米の脱穀作業では興味深く作業に参加していました。児童らの歓声とともに地域の皆さんとの触れ合いができ楽しい農業体験になったようです。

参加した児童・保護者の集合写真



サツマイモの収穫作業状況



稲の脱穀作業状況

